

田辺市議会だより

令和2年
(2020年)

8 月号

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

第2回(4月)臨時会、第3回(5月)臨時会
新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算などを可決
第4回(6月)定例会
令和2年度田辺市一般会計補正予算などを可決



田辺市市街地活性化施設「tanabe en+」

8月10日(月)紀伊田辺駅前オープン予定。施設の1階には田辺らしい魅力ある地域産品を紹介する「tanabe en+」プロモーションカフェを、2階にはワーキングスペース等を設けています。




tanabe en+

目次

- ・主な議案の内容について P 2～3
- ・意見書について P 3
- ・議決結果の一覧等について P 3～4
- ・一般質問について P 5～7
- ・第5回(9月)定例会予定ほか P 8

QRコード

※携帯電話・スマートフォンなどのバーコードリーダーで読み取ると、議会ホームページにアクセスできます。



主な議案の内容

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算などの議案を審議するため、4月30日及び5月29日に臨時会を開催しました。

4月30日の第2回（4月）臨時会では、市長提出議案2件を全て原案のとおり可決。5月29日の第3回（5月）臨時会では、市長提出議案4件を全て原案のとおり可決しました。

第4回（6月）定例会は、6月16日から7月7日までの22日間の会期で開催し、「令和2年度一般会計補正予算」など、市長提出議案37件を全て原案のとおり可決しました（人事案件については、同意または異議なし）。

このほか、市長専決処分事項など5件の報告を受けたほか、議員提出議案1件、委員会提出議案1件（意見書）を可決しました。
また、本定例会では、6月26日、27日、29日の3日間にわたり、11人の議員が一般質問を行いました。

第2回（4月）臨時会

補正予算

◆議案第1号

一般会計補正予算（第1号）

8億3379万4000円

- 子育て特別給付金

9550万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への支援

- 小規模事業者事業継続支援給付金

1億5378万9000円

新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少している事業者への事業継続に向けた支援

◆議案第2号

一般会計補正予算（第2号）

- 特別定額給付金

73億2039万円

1人当たり10万円の特別定額給付金を支給



第3回（5月）臨時会

補正予算

◆議案第1号

一般会計補正予算（第3号）

4億4481万円

- 地域活性化商品券事業

2億8200万円

消費喚起を図るため市内商店等で使える商品券を発行

- 観光キャンペーン事業

8000万円

観光需要を喚起するためクーポン券を発行

- 市民団体等活動応援補助金

1000万円

市民団体等へ視察研修等に係る車両借料の2分の1を補助

条例改正

◆議案第2号

田辺市国民健康保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の支給を行うため改正するものです。

第4回（6月）定例会

補正予算

◆議案第9号

一般会計補正予算（第4号）

6975万5000円

- 中小企業信用保証料補助金

1000万円

和歌山県信用保証協会に信用保証料を支払った中小企業への支援

◆議案第37号

一般会計補正予算（第5号）

1億8469万円

- 市議会各委員会の視察旅費の減額

△383万円

新型コロナウイルス感染症対策事業の財源とするため

- ひとり親世帯臨時特別給付金

1億2880万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯への支援

主な議案の内容

条例改正

◆議案第1号

田辺市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、非常災害に係る一般廃棄物処理施設の設置の特例手続など所要の改正を行うものです。

その他議案

◆議案第8号

あっせんの申立てについて

「水産増養殖・水産振興事業補助金等の不適切な会計処理事案に係る調査及び措置に関する最終報告」に基づく不当利得金等について、和歌山南漁業協同組合に対し支払うよう、和歌山弁護士会紛争解決センターへあっせんを求めるものです。

議員提出議案

◆発議第1号

田辺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

正副議長及び議員の議員報酬の7月分の月額を10万円減額するため改正するものです。

第4回（6月）定例会で可決した意見書

第4回（6月）定例会において「過疎地域の持続的な発展の実現に向けた新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関に提出しました。

過疎地域の持続的な発展の実現に向けた新たな過疎対策法の制定に関する意見書

（令和2年7月7日提出）※抜粋

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、引き続き総合的かつ過疎地域の実情に応じた支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく施策を確立・推進することが重要であるため、新たな過疎対策法を制定するよう強く要望する。

記

1. 新たな過疎対策法においても、現行法第33条に規定するいわゆる「みなし過疎」と「一部過疎」を含めた現行過疎地域を継続して指定対象とすることを基本としつつ、過疎地域の指定要件、指定単位については、過疎地域の特性を的確に反映したものとすること。
2. 過疎対策事業債について、過疎対策事業が円滑に実施できるよう必要額を確保すること。また、対象事業についても、上水道事業に統合した旧簡易水道事業を対象とするなど、過疎地域の特性を反映した財政措置の拡充を図ること。

議決結果

第2回（4月）臨時会

件名	議決結果
2 臨議案第1号	原案可決 (全会一致)
2 臨議案第2号	

第3回（5月）臨時会

件名	議決結果
3 臨議案第1号	原案可決 (全会一致)
3 臨議案第2号	
3 臨議案第3号	
3 臨議案第4号	

議決結果

第4回（6月）定例会

件 名		議決結果	
4定発議第1号	田辺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)	
4定発議第2号	過疎地域の持続的な発展の実現に向けた新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について		
4定議案第1号	田辺市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について		
4定議案第2号	田辺市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		
4定議案第3号	工事請負契約の締結について（会津川左岸地区津波避難施設整備工事）		
4定議案第4号	物品購入契約の締結について（防災行政無線戸別受信機購入）		
4定議案第5号	物品購入契約の締結について（排水ポンプパッケージ購入）		
4定議案第6号	物品購入契約の締結について（排水ポンプ車購入）		
4定議案第7号	訴えの提起について		
4定議案第8号	あっせんの申立てについて		
4定議案第9号	令和2年度田辺市一般会計補正予算（第4号）	同意 (全会一致)	
4定議案第10号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（森 治子 氏）		再任
4定議案第11号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて（藤井 利計 氏）		新任
4定議案第12号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（日下 崇 氏）		再任
4定議案第13号	〃（山崎 清弘 氏）		再任
4定議案第14号	〃（瀧本 和明 氏）		再任
4定議案第15号	〃（棒引 昭治 氏）		再任
4定議案第16号	〃（廣田 純一郎 氏）		再任
4定議案第17号	〃（鈴木 明 氏）		再任
4定議案第18号	〃（青木 登 氏）		再任
4定議案第19号	〃（中嶋 正行 氏）		新任
4定議案第20号	〃（田中 壽一 氏）		再任
4定議案第21号	〃（福嶋 隆 氏）		再任
4定議案第22号	〃（更井 寛司 氏）		再任
4定議案第23号	〃（上森 力 氏）		再任
4定議案第24号	〃（玉置 伸 氏）		新任
4定議案第25号	〃（山本 敏夫 氏）		新任
4定議案第26号	〃（高田 幸安 氏）		新任
4定議案第27号	〃（川井 洋之 氏）		再任
4定議案第28号	〃（長嶺 博司 氏）		再任
4定議案第29号	〃（松本 平男 氏）		新任
4定議案第30号	〃（峯園 五郎 氏）	再任	
4定議案第31号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（曾我部 一 氏）	再任	
4定議案第32号	〃（山本 幾生 氏）	再任	
4定議案第33号	〃（光吉 直也 氏）	新任	
4定議案第34号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（中岸 誠 氏）	再任	異議なし (全会一致)
4定議案第35号	物品購入契約の締結について（田辺市CATVサブセンター通信系機器購入）	原案可決 (全会一致)	
4定議案第36号	物品購入契約の締結について（消防指令システム情報系機器購入）		
4定議案第37号	令和2年度田辺市一般会計補正予算（第5号）		

※議案第〇号となっているものは市長提出議案、発議第〇号となっているものは議員・委員会提出議案です。

一般質問

コロナ禍の自粛要請などによる田辺市の 経済的影響について 久保浩二議員

議 コロナ禍の自粛要請などで本市の経済的影響はどれくらいあったか。

市 本市支援給付金申請者の売上げ減少率は、平均でマイナス62%となっていることから、新型コロナウイルスの影響は大変大きいと認識している。

議 減収している事業者への各種給付金で事業継続は充分と考えているか。

市 感染症の影響があった4～5月に収入が激減した事業者においては、一定の効果はあったと考えている。

議 1回だけの給付金の支援では不十分。今後も支援を続けていかないと事業継続が困難な方も出てくる。

新型コロナウイルス感染症に関する 支援策について 小川浩樹議員

議 コロナ禍の中、売上げが減少した事業者は、現状の給付金で窮状をしのぐ事になるが、それでも売上げが戻らない場合など、市として新たな施策を打つことは考えているか。

市 必要な施策を講じていきたい。

議 国の定額給付金10万円が4月27日の住民基本台帳が基準となったことで、4月28日以降出生の新生児は対象とならない。コロナ禍の中、苦労された妊婦の方の思いもくみ、市として独自に給付金同等の支援策を行えないか。

市 プレミアム商品券を配布する事業を行いたい。

世界農業遺産と減少しているニホンミツバチの 関係 取組について 尾花 功議員

議 世界農業遺産保全計画（第二期）にミツバチの個体群の保持という項目があるが、市ではどのように取組んでいくのか。

市 梅とミツバチの共生が世界農業遺産に認定される大きな要因の一つとなっており、ニホンミツバチは世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」のロゴマークにも取り入れられている。市としては専門家の意見を聞くとともに、農協や養蜂関係者などと協議しながら、ニホンミツバチの個体群数保持のための取組を進めていきたい。

議 関係機関と連携し保全に努めてもらいたい。

市役所でのテレワーク導入について 松上京子議員

議 新型コロナウイルス感染症の第二波やその他の災害に備えるため市役所でもテレワークを導入してはどうか。

市 窓口業務が多いことやセキュリティの確保が難しいなどの課題があり、地方自治体での導入はまだ進んでいない。今後は先進地の状況も踏まえ、課題の解消や導入の可能性を検討したい。

議 テレワークは、子育てや介護との両立、障害者雇用につながる可能性もある。多様な働き方実現のためにも窓口業務のない部署での在宅勤務やオンライン会議など、平時のうちにできることから試してもらいたい。

※ 議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

※ 編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一しています。

ごみ削減対策について

二葉昌彦議員

議 プラスチックごみが大量に海に流出し、環境汚染により海洋生物にも悪影響を与えている。身近な生活におけるごみ削減対策はできないか。

市 海洋環境汚染は地球規模で進んでいる。不法投棄の発生抑制、回収、海岸及び河川の清掃、地域の取組を推進し、海洋ごみ問題に対処していきたい。

議 「和歌山県ごみの散乱防止に関する条例」も施行され、本気で和歌山のごみゼロを目指すべきである。市は、世界に誇れる素晴らしい自然に恵まれ、各地から観光客が訪れている。「おもてなし」の心で迎えることが大事である。

観光振興について

塚 寿雄議員

議 新型コロナウイルス感染症は各種業界に多大な影響を及ぼしている。特に観光業において、宿泊客の相次ぐキャンセルで大変厳しい状況である。ウィズコロナの局面に当たり、観光客の誘致に向け、積極的な施策を打ち出してほしい。

市 海外需要が見込めない現状から国内需要を喚起するため、市内向けと全国向けの観光キャンペーンについて、感染症の状況を見定めるとともに、宿泊事業者に感染防止拡大のガイドラインを遵守していただきながら、できるだけ早い段階に実施していきたい。

新型コロナウイルスによる学校教育活動等への影響について 高田盛行議員

議 「田辺市の教育」には、市内の全小中学校普通教室へ空調設備の整備を、平成30年度から3か年計画により取り組むと記されているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、工事が遅れるのか。また、暑さ対策及び熱中症対策はどうか

市 空調設備の整備は、新型コロナウイルス感染症の影響による夏休みの短縮等のため、平日、週末にも工事を行うなど、できる限り前倒しして全力で取り組む。暑さ対策及び熱中症対策は、始業時刻の前倒し、午前中の授業、エアコン設置の教室利用、扇風機の配備などの対策を講じる。

コロナ禍における林業経営に係る支援の必要性について 宮井 章議員

議 コロナ禍による木材価格の下落に対し、木材運搬費の助成はできないか。

市 現在、県と合同で事態の把握に努めている。協議を継続し必要な支援については、国県に要望していきたい。

議 コロナ禍で、生産活動が停滞する中、損なわれる労務の確保について、緊急的な事業創出が必要ではないか。

市 市町村森林経営管理事業での間伐を県内で初めて実施するほか、切捨間伐を含めた林業における雇用創出を積極的に図っていきたい。

議 今般の地方創生臨時交付金の利活用についても、協議し一考されたい。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一していません。

一般質問

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

GIGAスクール構想とオンライン授業について 浅山誠一議員

- 議 児童生徒に1人1台のタブレット型PCを導入するスケジュールは。
- 市 年内に校内ネットワーク環境を整備し、タブレット端末は本年度中に整備できる予定。
- 議 緊急時において各家庭でオンライン授業を行うことは可能か。
- 市 現時点でオンライン授業の実施は、ハード面で困難。端末整備前に臨時休業となれば、学校所有PC等の緊急的使用も含め、特に卒業を控える小学校6年生、中学校3年生への対応を中心に検討する。今後オンライン授業については環境整備と研究を続け、職員研修も行う必要があると認識している。

コロナ禍における子どもの心のケアと学びについて 前田佳世議員

- 議 コロナ禍の長期一斉休業によって心理的ストレスや不安を持った子どもたちの心のケアが必要だ。
- 市 担任やスクールカウンセラーが中心となって状況把握し、相談は面談だけでなくメールや電話など柔軟な対応が行えるよう取り組みたい。
- 議 学習の遅れについては、学習内容を精選し無理なく学べる配慮が必要だ。入試範囲は早急に方針を公開されたい。
- 市 各学校や児童生徒の実態に応じた学習が進められるよう取り組みたい。入試範囲に関しては、学習状況を県教委に伝え連携を図っていききたい。

市議会本会議の会議録や録画映像はインターネットからご覧いただけます

田辺市ホームページを検索

田辺市議会をクリック

次のご覧になりたい項目をクリック

会議録検索

議会録画配信

閲覧・検索

録画映像

ご覧になりたい本会議開催日等を選択

※QRコードからもアクセスできます。



自殺対策計画の実効性を高める取組について 川崎五一議員

- 議 自殺の傾向はどうなっているのか。
- 市 全国的には減少傾向だが和歌山県では平成26年から増加傾向。本市では毎年約20人が自殺により命を失っており、60歳以上の無職者が多いので高齢者への支援に優先的に取り組んでいる。
- 議 日本の自殺率は先進国中トップで生きにくい社会の表れ。全国的に若者(10代)の自殺は減っていない。学校での取組は市単独でも検討すべき。新型コロナによる経済苦が自殺の原因となり得る。生活保護制度の弾力的運用と権利として制度が活用できるよう広報し啓発に取り組むべき。

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一していません。

議 会 活 動 日 誌

- 4月
【14日】 広報委員会
【27日】 議会運営委員会
【30日】 本会議（4月臨時会）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会
- 5月
【25日】 議会運営委員会
【29日】 本会議（5月臨時会）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会
- 6月
【 3日】 新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
【10日】 議会運営委員会
【16日】 本会議（1日目）
【25日】 本会議（2日目）、総務企画委員会
【26日】 本会議（3日目）、議会運営委員会
【29日】 本会議（4日目）
【30日】 産業建設委員会、文教厚生委員会
- 7月
【 1日】 総務企画委員会
【 7日】 本会議（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
【17日】 広報委員会

新型コロナウイルス感染症による市民の不安軽減に向けた取組を求める申し入れ

議長と副議長は議会を代表して、4月6日に市長に対し、田辺保健所管内で新型コロナウイルスへの感染が確認されたことに伴い、市民の不安軽減に向けた下記取組を求める申し入れを行いました。

記

1. 地域経済への影響を最小限にするためにあらゆる対策を講じると同時に、その対策を推進するための補正予算を早期に編成すること
2. 新型コロナウイルスに対する無理解や偏見から発生する誹謗中傷並びに風評被害を防ぐため、正しい知識の普及啓発に努めること
3. 小中学校の休業延長などに伴って生じる市民生活等に関する課題に対し、具体的な対応策を早急に講じること
4. 市民の混乱を招く流言飛語に対し、迅速かつ適切に対応するとともに、個人情報やプライバシーに配慮しつつ、市民の不安を軽減する情報発信に努めること
5. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の情報については、逐次市議会へ適切かつ正確な情報提供を行うこと



令和2年第5回（9月）定例会の会期日程（予定）

第5回（9月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。なお、日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
9	2	本会議 1日目（関係議案の提案説明）
	11	本会議 2日目（一般質問）
	14	本会議 3日目（一般質問）
	15	本会議 4日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	16	常任委員会（関係議案審査）
	17	常任委員会（関係議案審査）
	25	本会議 5日目（関係議案に係る委員長報告、議案審議）

※本会議の開会予定時刻は、9月2日及び25日が午後1時、それ以外は午前10時です。

ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

【連絡先】

田辺市議会事務局
〒646-8545 田辺市新屋敷町1番地
TEL 0739-26-9940（直通）
FAX 0739-25-5579
E-mail: gikai@city.tanabe.lg.jp

次回の「市議会だより」

11月号

（第5回（9月）定例会の報告）

編集後記

夏の厳しい暑さ迫る折、コロナ禍に加えて豪雨災害と非常に厳しい現実がある中、プラネタリーバウンダリーというひとつの概念があります。これは地球の限界値を9項目で指標化したものですが、すでに4種の定義について、その限界値を超えていると言われている。コロナ禍と異常気象、ある意味それは、地球から発せられた人類に対する試練と気付きへのいざないかもしれません。

他方、過去に超克してきた感染症対策への最大の敵は生活様式の変化に対する抵抗意識であったとされ、その解決には正しい知識と理解を広く浸透させる広報係の活躍がありました。新しい日常を受容するには時間がかかります。しかし、打ちひしがれていても解決しません。

禍福は糾える縄の如しとは少々樂觀的すぎるかもしれませんが、ともかく清流に跳ねる若鮎の如く、共にはつらつと遡上する努力をしなければなりません。

広報委員会
委員長 安達 幸治
副委員長 松上 京子
委員 柳瀬 理孝
前田 佳世
宮井 賢治
中本 豊数
出水

（宮井）